

新型コロナワクチン接種のお知らせ

4月下旬頃から、高齢者から順に新型コロナワクチン接種が始まる予定となっています。

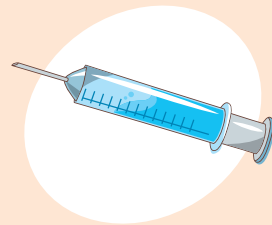
問合先 泉佐野市コロナワクチン コールセンター
(☎0570-061212 平日午前9時～午後7時)

記事の情報は3月9日現在の内容です。最新の情報は、随時下記の健康推進課ホームページに掲載しますので、ご確認ください。お問い合わせください。

①ご自身の接種可能な時期をご確認ください

当面は確保できるワクチンの量が不確定であることから、国が接種対象者順位と接種時期を指定し、医療従事者等、高齢者、基礎疾患のある人等から順次接種がすすめられます。(順位の詳細は広報3月号に掲載しています。)

なお、ファイザー社製ワクチンにおいては、接種当日16歳未満の人やワクチンの成分に対し重度の過敏症の既往歴のある人などは対象外となります。



②接種可能な時期が近づいたら自己負担金無料となる「接種券」をお届けします

住民登録されている住所地へ、4月下旬に高齢者（昭和32年4月1日以前に生まれた人）から順次、接種券・予診票などを送付する予定です。

戸籍・住民票に記載がない人や、その他の住民登録台帳に記録されていないやむを得ない事情がある人は、お住まいの市町村へご相談ください。

※広報3月号で接種券の送付時期を3月中旬頃と掲載しましたが、ワクチンの供給状況により4月下旬の予定に変更となりました。

③接種場所を決めます

原則、入院中・入所中の場合を除き接種を受ける日に住民票のある市町村内での接種となります。その他、やむを得ない理由で、住民票のある市町村以外で接種を受ける人は、接種券が届いたら、接種される医療機関所在地の市町村の相談窓口へ、事前に問い合わせてください。

なお、泉佐野市民は泉佐野市以外の熊取町、田尻町、泉南市、阪南市、岬町の実施医療機関においても、本市で受ける場合と同様に、接種が可能です。

※泉佐野市内での実施医療機関及び集団接種の実施日時、場所、受け方などは、決定次第、健康推進課ホームページでお知らせする予定です。

④接種券が届いたら、ワクチン接種が可能な希望する医療機関などへ予約してください

予約の際に接種券に記載された接種券番号を確認する場合がありますので、届いた接種券を準備してご予約ください。

※予約は4月下旬以降の予定となります。予約が可能となりましたら、健康推進課ホームページなどでお知らせします。

【予約方法】

- 泉佐野市内の医療機関…電話などで直接医療機関へ
- 集団接種会場…電話で泉佐野市コロナワクチン コールセンター（☎0570-061212 平日午前9時～午後7時）へ

⑤ワクチン接種を受けます

接種当日は、「接種券」と必要事項を記入した「予診票」、本人確認書類（マイナンバーカード、運転免許証、健康保険証など）を必ず持参してください。

- 接種費用は無料です。(全額公費)
- 「接種券」がない場合は、接種できません。その場合は、住民票のある市町村へ問い合わせてください。
- 「接種券」は切り離さず台紙ごと持参してください。
- 同じ種類のワクチンを2回、決められた間隔で、出来る限り1回目と同じ接種場所で接種をしてください。(ワクチンの種類により異なりますが、21日間隔または28日間隔の予定)

●接種前には、接種予定ワクチンの説明書（接種券に同封）をよく読んでおきましょう。

※新型コロナワクチンについての詳細は、厚生労働省新型コロナワクチンコールセンター（☎0120-761770 午前9時～午後9時 土日・祝日可）へ

⑥接種後、15～30分、接種会場で経過観察後に帰宅します

接種後に気になる症状を認めた場合は、接種医またはかかりつけ医に相談してください。また本ワクチンによる健康被害が生じ、因果関係の審査で認定されると予防接種法に基づく救済が受けられる場合がありますので、住民票のある市町村へ相談してください。

健康推進課ホームページ
「新型コロナワクチンについて」
<http://www.city.izumisano.lg.jp/corona/jouhou/vaccine.html>



令和3年2月19日



首相官邸
Prime Minister's Office of Japan



厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

新型コロナワクチンについて 皆さまに知ってほしいこと

～ワクチンに関する情報を、正確に、わかりやすくお伝えします～



新型コロナワクチンは、発症を防ぐ効果が認められています。

今回新たに承認された新型コロナワクチンは2回の接種によって、95%の有効性で、発熱やせきなどの症状が出ること（発症）を防ぐ効果が認められています。（※インフルエンザワクチンの有効性は約40～60%）



どんなワクチンでも、副反応が起る可能性があります。

一般的にワクチン接種後には、ワクチンが免疫をつけるための反応を起こすため、接種部位の痛み、発熱、頭痛などの「副反応」が生じる可能性があります。治療を要したり、障害が残るほどの副反応は、極めて稀ではあるものの、ゼロではありません。（予防接種による健康被害は救済制度の対象です。）

今回新たに承認されたワクチンの国内治験では、ワクチンを2回接種後に、接種部位の痛みは約80%に、37.5度以上の発熱が約33%、疲労・倦怠感が約60%の方に認められています。

ワクチンに含まれる成分に対する急性のアレルギー反応であるアナフィラキシーの発生頻度は、市販後米国で100万人に5人程度と報告されています。日本での接種では、ワクチン接種後15～30分経過を見て、万が一アナフィラキシーが起きても医療従事者が必要な対応を行います。



新型コロナワクチンの接種には、優先順位があります。

全国民に提供できるワクチンの数量を確保することを目指しています。しかしながら、ワクチンの調達が段階的にならざるを得ないことから、まず、重症化リスクの高い方から順に接種することで、重症者や死亡者を減らすことを優先します。また、新型コロナウイルス感染症患者に対する医療提供体制を守ることも不可欠です。

このため、①新型コロナウイルス感染症患者等に直接医療を提供する医療従事者等、②65歳以上の高齢者、③基礎疾患を有する方や高齢者施設等において利用者に直接接する職員、の順で接種をしていく方針です。その後、16歳以上の一般の方に、順次接種が行われます。

掲載の内容は、今後見直される場合があります。
（出典：首相官邸HPより）



新型コロナワクチンは、あなたご自身のためだけでなく、医療機関の負担を減らすための重要な手段にもなります。

新型コロナウイルスは、まだまだ未知のことがあります。このウイルスの感染により、令和3年1月末までに6千人以上の方が亡くなり、3万人以上の方が入院されています。特效薬も開発中の段階です。

こうした中で、多くの方に接種を受けていただくことにより、重症者や死亡者を減らし、医療機関の負担を減らすことが期待されます。



新型コロナワクチンの承認後も、継続的に安全性を確認します。

アナフィラキシーや医師が予防接種との関連を疑う重篤な症状が発生した場合は、法に基づき報告を受け、専門家が評価します。こうした報告の中には、ワクチン接種後の持病悪化・死亡のように、ワクチンとの因果関係が直ちに評価できない事例も含まれますが、幅広く収集し、評価を行うこととしています。

加えて、1～2万人の先行接種者を含め、延べ約300万人の方々について、ワクチン接種後の症状等の調査を予定しています。

このように、ワクチンの安全性を継続して確認し、安全性に関する情報を提供していきます。



新型コロナワクチンは、誰もが全額公費（無料）で受けることができますようにします。

外国人も含め、接種の対象となるすべての住民に全額公費で接種を行う見込みです。接種の時期が近づいたら、市町村から、接種のお知らせや接種券をお送りする予定です。



ワクチンについて、正しく知ったうえで、判断しましょう。

新型コロナワクチンを承認し、接種をお勧めするにあたって、国内外の数万人のデータから、発症予防効果などワクチン接種のメリットが、副反応といったデメリットより大きいことを確認しています。国民の皆さまが納得して判断をしていただけるよう、国としても情報提供に努めてまいります。